

課 題	4	柔軟で多様な開かれた参画システムの構築
重点項目	21	地域センターの整備

目的

地域における様々なコミュニティ活動を支える場と機会の充実を図ります。

対象・手段

対象: 区民、各種団体、NPO、ボランティア等

手段: コミュニティ活動の拠点としての地域センターを整備します。

重点項目の方向

特別出張所(10箇所)の単位で地域センターを整備し、地域のコミュニティ活動を支える場と機会を充実し、地域の連帯・自治意識の醸成を図ります。

成果指標

指標名		定義	目標水準			
地域センター整備達成率		10特別出張所でセンター化された割合	(平成21年度に)	100%	の水準達成	
地域センター利用率		地域センター利用率	(平成20年度に)	70%	の水準達成	
			()		の水準達成	
重点項目の達成状況						
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
重点項目 成果指標	目標値1	センター	10.00	10.00	10.00	
	実績1	センター	8.00	8.00	8.00	
	目標達成率1 = /	%	80.00	80.00	80.00	
	目標値2	%	70.00	70.00	70.00	
	実績2	%	63.90	66.50	66.00	
	目標達成率2 = /	%	91.29	95.00	94.29	
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

主な取組み

落合第二地域センターは、19年6月の地域センター開設に向けて、管理運営委員会を立上げ、各種規定の策定、事業計画、予算案の作成、事務局職員の採用など順次進めます。また、建設工事・設備工事の工程においては、近隣対策や環境対策を行い、地域(近隣者)の理解を得られるようにします。
 (仮称)戸塚地域センターは、建設準備会で施設構成等の基本計画案を決定します。

課題

落合第二地域センターは、地域の方々に組織された管理運営委員会が指定管理者として管理代行することになりました。管理運営委員会がしっかりと地域センターを管理運営できるように、体制作りの支援を行う必要があります。
 (仮称)戸塚地域センターは、建設準備会で決定した基本計画案を踏まえた基本・実施設計について、地域住民の合意形成に努める必要があります。

評価

総合評価	
落合第二地域センターは、建設工事・設備工事について各種対策を行い、近隣者の理解を得ながら竣工することができました。(仮称)戸塚地域センターは、平成19年3月に課題であった東京都市計画公園の変更が決定され、施設内容の検討においても基本計画案が建設準備会において決定されました。 このように、両施設とも計画通りに進捗しており、21年度には全ての地域に協働の核となる地域センターが設置され、地域の方が気軽に集え、交流できる場を提供することで地域の連帯・自治意識の醸成に寄与することが期待できます。	B

今後の取組み・改革の方針

落合第二地域センターは、19年6月の開設に向けた準備を進める一方、管理運営委員会による地域センター事業を支援していきます。
 (仮称)戸塚地域センターは、建設準備会で決定した基本計画案を踏まえた基本・実施設計案について、地域住民の合意形成が図れるように取組みます。
 全地域センターでは指定管理者制度の移行や、利用区分の細分化など、柔軟な管理運営、利用促進に向けた取組みが進んでいますが、その効果や影響等について、地域センター指定管理者の評価委員会を通じて検証していきます。落合第二地域センターは、管理運営委員会による地域センター事業を支援していきます。

重点項目を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
地域センターの整備	B	123		